

2640地区 青少年ライラ委員会クラブ委員長会議 開催を終えて

地区青少年ライラ委員会 委員長 阪井祥博

7月24日 大変な猛暑の中、泉大津テクスピアに於きまして、地区青少年ライラ委員会主催のクラブ協議を開催いたしました。当日ご公務ご多忙の中、中島ガバナー、前窪直前ガバナー、平島ガバナーエレクト、各地区ガバナー補佐様など多数のご来賓がお越しください、各クラブからはご代表が64クラブご出席くださいました。本当に盛況の中、委員会を始めることが出来ました事を感謝申し上げます。

最初に、委員会運営に当たる基本指針としてガバナーメッセージにある「ロータリーは「他人に対する思い遣りを深め、思い遣った事を実行すること」そして 思い遣り深い人を増やして行く「人造り」こそロータリーの仕事であるというお話を致しました。大人も子どもも近年、非常に人嫌いや人離れが増えている。他人とかかわり合う事を避ける傾向にありその現象が、社会問題として最近の事件や社会問題と密接な関係がある。

要するに「社会力の衰弱」が要因だという。

社会力とは人と人がつながり、社会を作り、作った社会を運営してゆく意欲や能力であり、且つ又、よりよい社会に作り変えていこうとする志向や構えであり、それを可能にする構想力や実現能力のことを言い、そのおお元は他者への強い関心であり、愛着であり、信頼感であると言っておられます。

社会教育学者門脇厚司さんの著書を例にロータリーとして今後の取組み姿勢をお願いいたしました。

本年度のライラセミナー開催は来年3月19日から21日までの3日間とし、例年どうり青少年海洋センターにて開催するとの発表をし、ライラセミナーのプログラムについて詳しくご説明をさせていただきました。

そのあと、IM単位にテーブルを分け、本年度の青少年に関する事業計画や青少年の話題について討論を活発にいただき、多くの意見発表を頂きました。やはりどのクラブも青少年に関する事業を重要視していただいている事が再確認できました。

皆様のご意見を頂きながら、青少年健全育成と指導者育成にかかわる委員会として、責務の重さを改めて感じたしだいでございます。

本年度の委員会として各クラブより出向していただいています地区委員の皆様と共に十分な協議を重ね、慎重にプログラムを設定し、青少年の未来の為に真剣に取組みをさせていただきます所存です。2640地区ロータリアンの熱い友愛を期待すると共に、ライラセミナーが活性化するためのご協力を心よりお願いを申し上げます。ありがとうございました。